



ミナセンなかどおり通信

2022年5月9日

TEL 080-5732-3942

fax 024-953-2895

nakajiryochi@rainbow.plala.or.jp

ALPS 処理後の放射能を含む汚染水
総量の制限なしに海に流していいの？

海といのちを守る

タウンミーティング in 郡山

2022
5/14 (土)
14:00 ▶ 16:00

郡山教組会館
(福島県教職員組合郡山支部)

- 講演：柴崎直明さん (福島大学教授)
「原発構内の止水について」
- 動画上映：「海に流しちゃっていいの？
汚染水」シリーズ (FoE Japan)

講演者プロフィール

柴崎直明 (しばさき なおあき)

1960年 熊本市生まれ

1983年 信州大学理学部

地質学科卒業

国際航業(株)地質

調査事業部入社

1988年 インド国立地球物理学研究所客員

研究員(2年間)

2000年 国際航業(株)海外事業部主任技師

2004年～福島大学共生システム理工学類教授

2013年～福島県廃炉安全監視協議会専門委員

(水文地質学)



東京電力福島第一原発事故により発生し、ALPS 処理をしたのちにタンク貯蔵されている放射能を含む汚染水について、昨年4月、政府は海洋に放出する方針を決定しました。海へ放出する放射性物質の総量は規制されないため、環境汚染への懸念や生体への危険性、生業が成り立たなくなることなどへの懸念から、漁業者をはじめ多くの福島県民が反対をしたりもっと慎重に検討するべきと声をあげています。汚染水を海へ棄ててしまうことは解決ではありません。汚染水の発生段階からまず止めることや、陸上での安定保管などについての話から、海洋放出しかないという東電や政府の主張の誤りにせまります。ぜひご参加ください！

※駐車場はお車を詰めて駐めて頂くこととなります。
ご協力をよろしくお願いします。

海といのちを守るタウンミーティング in 郡山

日時 ▶ 2022年5月14日(土) 14:00~16:00 (開場13:30)

会場 ▶ 郡山教組会館 (福島県教職員組合郡山支部) 郡山市桑野2丁目33-9

参加費 ▶ 無料

主催 ▶ 海といのちを守る福島ネットワーク

問合せ ▶ 090-4477-8356

— 県民の多数は容認していない！参議院選挙の争点に —

放射能汚染水海洋放出は国政・県政のみならず地球的大問題

参院選の政策 — 憲法 9 条を活用し世界平和に貢献、暮らしと命を守る —

- ◎ロシアのウクライナ侵略は、核兵器と原発廃絶の必要性を痛感させました。憲法 9 条を持つ日本こそ、軍備拡大競争を止め、緊張緩和にリーダーシップを発揮すべきです。
- ◎戦争・円安で急激に物価が上昇する一方、コロナ経済対策も終わり生活困窮が広がっています。岸田政権の政策は「貯蓄より投資へ」などと富裕者目線で作られています。庶民が人間として尊厳ある生活が送れるようにするには、生活支援のための大幅な財政支出を進める一方、消費税や石油税などを大幅に引き下げ、負担を軽減することが必要です。